

No.46

令和5(2023)年8月1日発行

主 な 内 容

特集「新しく生まれ変わった
滝川市議会を紹介します！」
…………… 2～3

皆さんの声を議会へ
(代表質問等)…………… 4～7

主な議決結果…………… 8～9

インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか……………10

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！



マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



議 長
山本 正信

本年4月の改選により、滝川市議会議長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

5名の新任議員が誕生した滝川市議会では、新しい風を取り入れながら、行政への監視機能を果たし、公正・公平な議会運営に努めるとともに、市民の皆様の負託に応えるため、市政の充実と発展、住民福祉の向上に努めて参ります。

「開かれた議会」の取り組みの一環として、市議会だよりやインターネット中継などを活用し、様々な情報を発信して参りますので、関心をもっていただけましたら幸いです。



特集 新しく生まれ変わった

令和5年4月に行われた選挙により新任議員5名が加わり、新しく生まれ変わった滝川市議会がスタートしました。16名の議員が各々の持ち味を生かしながら、一丸となって滝川市の発展、市民生活の向上に取り組み、市民の皆さんから信頼される議会となるように全力で頑張っています！！

各議員のプロフィールを紹介。①「モットー」、②「抱負」
(名前の横は当選回数。★は会派代表。議席順で掲載。)

 寄谷 猛男② 昭和31年生 日本共産党 ①力対力の被害者は市民。だからこそあらためて「平和と民主主義」 ②老若男女問わず一人ひとりの個性・いのちを思いやる社会づくり、自然豊かなふるさとを守り引き継ぐことに微力でも力になりたい。	 高橋 江海子① 平成3年生 れいわ新選組 ①滝川をあきらめない！ ②特技は歌とスケート、三度の飯より釣り。名前の由来は奥尻島の海(江差)で育った子。30代、3児の母、音楽家の目線で、市民全員の幸福度が高い滝川市を目指し提言します。	 好川 章① 昭和24年生 新政会 ①「タフな親爺の底力」 ②滝川農業振興のビジョンを提言します。シルバー世代のパワーを活かす政策提言をします。	 福井 雅章① 昭和47年生 新政会 ①気軽に声をかけていただき、気さくに会話させていただき、厳しいお叱りもしっかり身に刻んで日々是邁進！ ②市民皆様のお知恵、ご意見等をご教示頂いて、滝川市政にしっかり反映させて行く所存です。
 藤田 哲也① 平成6年生 市民ネットワーク ①志ある者は事ついに成る ②『滝川に新風を』このスローガンのもと、新任議員として市政と市民をつなぐ役割をしっかりと果たして参ります。	 荻野 仁史① 昭和59年生 市民ネットワーク ①感謝、愛、努力 ②常に感謝を忘れずに市民の皆様と多くのワクワクを創っていきます。宜しくお願ひします。	 山本 正信④ 議長 昭和28年生 市民ネットワーク ①市内の賑わいを復活させるための方策を市民の皆様の声を聞きながら進めていきます。 ②唯一の農業議員として基幹産業である農業の発展が滝川全体の経済発展につながると信じて活動します。	 木下八重子④ 昭和19年生 市民ネットワーク ①市民のために、議員としての集大成で頑張ります。 ②市民の声をよく聞いて、市政に反映します。女性が輝いて活躍できる環境を作ります。いつまでも住み続けたいまちを作ります。

～常任委員会等委員のご紹介～

市の業務は、質・量ともに複雑化しており、議案などの案件をいくつかの部門に分けて専門的・能率的に審査したり、調査・研究するための常設機関として「常任委員会」が設けられています。また、特に重要な案件がある場合に、議会の議決によって特別に設置される特別委員会も設置されています。

滝川市では、条例に基づき、所管事項を定めただうで3つの常任委員会を設置しており、議員は必ず2つの常任委員会に所属しています。

☆総務文教常任委員会



担当所管：総務部、市民生活部税務課及び江部乙支所、駅周辺整備部、会計課、教育委員会、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、他の常任委員会に属さない事項等について

☆厚生常任委員会



担当所管：市民生活部（税務課及び江部乙支所を除く）、保健福祉部、市立病院に関する事項等について

滝川市議会を紹介します！



堀 重雄⑤
昭和25年生
公明党

- ①市民の皆様の声を市政に!!
- ②行財政改革こそ、市民の皆様への期待に応えられると信じ全力で取り組んで参ります！



三上 裕久⑥
副議長
昭和33年生
★公明党

- ①自分を律する！（初志貫徹）弱い自分に対して思いを貫けるように努力する。
- ②ピンチはチャンス！逆境を乗り越え、弛まぬ努力、強い心を保つことでチャンスにつなげたい。（まだまだですが…）



田村 勇⑨
昭和19年生
★新政会

- ①あなたと・活力・協働・未来
- ②市政無料相談室に寄せられる貴重な意見を市政に反映させる、地域コミュニティや、空き地、空き家の有効利用を推進する。



山口 清悦⑥
昭和28年生
新政会

- ①市民ファースト
- ②議員歴20年超の経験に基づき、これまで同様行政の様々な施策に対して市民目線の提言を行います。議会全体のレベルアップのために新任議員教育も担っていきます。



安楽 良幸③
昭和34年生
新政会

- ①何事にも「明るく!」、「謙虚に!」、「一生懸命!」取り組む。
- ②3期目ですが、初心を忘れず、市民の皆さんの声をしっかりと議会や行政に届け、住んで良かったと思える街づくりに尽力します。



柴田 文男⑥
昭和34年生
21フォーラム

- ①新しい時代をつくる。17年の行政経験と20年の議会経験を生かし、市議会と行政をリードします。
- ②大きな変革の時代。困難に負けることなく、間違いないまちづくりに取り組みます。



荒木 文一⑤
昭和37年生
市民ネットワーク

- ①何事にも誠実に、着実に！
- ②医療職としての知見を活かし、市立病院の運営、公衆衛生の推進に様々な提案を行って参ります。



関藤 龍也⑤
昭和31年生
★市民ネットワーク

- ①人の話（市民の声）は最後まで聴き、自分の考えは最後に言い、市民に還元できる行動を起こすこと。
- ②新たな議会改革に取り組み、新任議員を育成するため、勉強会を充実させます。

☆経済建設常任委員会



担当所管：産業振興部、建設部、農業委員会に関する事項等について

☆新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会



担当所管：新型コロナウイルス感染症等に関する事項について

☆議会運営委員会



担当所管：議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項等について

☆市議会だより編集委員会



担当所管：議会だよりの編集・発行等に関する事項について



皆さんの声を議会へ

当市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問において、個人質問と代表質問が認められています。代表質問は会派代表者等が市政執行方針等に対して行うもので、改選年は6月定例会（改選年以外は3月定例会）において行われています。住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、会派無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、6名の議員が質問しました。その一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
関藤 龍也 (市民ネットワーク)	財政健全化と基金 滝川駅周辺整備等に向けた方針 人口減対策と「ちょうどいい田舎滝川」 子育て支援策 婚活イベントの開催 新型コロナ5類移行後の市立病院運営方針 滝川市立病院経営強化プラン 新規就農者の育成確保 事業者支援 滝川ふれ愛の里の運営継続 スカイワーケーション事業 ふるさと納税 A L T 英会話学習 道德教育のあり方
山口 清悦 (新政会)	市長の4期目における市政運営 滝川駅周辺の環境整備及び公共施設の再編 産後ケア事業及び不妊治療支援 学校給食費のさらなる公費負担 国際交流、国際教育事業の推進 国学院大学との連携 市立病院の看護師確保及び離職防止 生活支援コーディネーター 市民活動の推進 市内商工業者に対する支援 滝川ふれ愛の里及び池の前水上公園キャンプ場の運営 滝川市空家等対策計画 ふるさと納税 自治体D X 教職員の能力向上 不登校児童生徒への支援 読書環境の充実 温水プール
堀 重雄 (公明党)	子育て支援 高齢者の入浴機会の確保 業務の改善
高橋江海子 (れいわ新選組)	妊婦に対する経済的支援 産後ケア事業 安心して子どもを育てる環境 福祉サービスの提供体制
柴田 文男 (21フォーラム)	滝川市空家等対策計画の推進体制 教育環境の整備
寄谷 猛男 (日本共産党)	滝川駅周辺の環境整備 公共交通の利便性 新たなホールの建設 市立病院の経営 生活支援体制の充実 ジェンダー平等 国民健康保険特別会計 マイナンバーカードの普及促進 主権者教育 I C T 導入による学校図書館の役割 部活動の地域移行

第2回定例会 代表質問から

子育て支援策について



関藤 龍也
市民ネットワーク

問 本年度から開始された中学生以下の医療費無償化は、市民からの評価も高く、多子家庭にとっては安心材料の一つと思われる。しかし、近年の物価高騰を考えると、さらなる子育て支援の充実を図るべきと思うが、検討を進める上での必要な視点について伺う。

答弁 国では「こども未来戦略方針」が示され、児童手当の拡充、給食費の無償化など経済的な不安を減らす施策が検討されています。本市でも伴走型相談支援や産後ケア事業などを進める中で、子育て世帯に寄り添い孤立させない安心を与えるための視点が必要だと考えます。

問 滝川市立病院の健全経営は市民誰もが望んでいる課題である。今回方針として示された総務省のガイドラインに基づく滝川市立病院経営強化プランについて、これまでの経営改善計画とどのような関係性となるのかを伺う。

答弁 経営改善計画は、経営改善の取り組みをまとめたもので、新型コロナウイルス感染症に伴う国からの交付金・補助金を財源に充てたことなどから、病院事業収支は改善しました。経営強化プランは、こうした情勢も踏まえた上でコロナ後の見通しを精査し、計画に反映していきたいと考えています。

問 道德教育推進事業の一環として、外部講師による研修を通して道德教育の質的転換を図るとされているが、どのような外部講師を検討し、どのような転換を図ろうとしているのかを伺う。

答弁 今年度は、聖徳学園大学の山田貞二准教授を招き、モデル授業や講演会を行っていただく予定です。従来の「先生が中心になって進めていく授業」から「児童生徒が色々な考えに触れ、自分の生き方を見つけていく」、いわゆる「考え、議論する道德」へ質的転換を図ります。

学校給食費のさらなる公費負担について

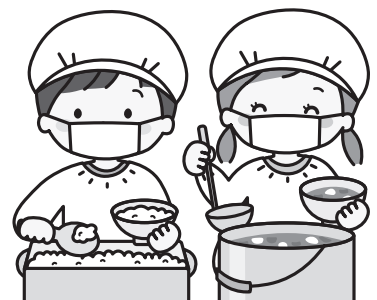


山口 清悦
新政会

問 本市においては、子育て世帯への経済的支援を図るため、学校給食に係る食材費上昇分について4月から公費負担しているが、歯止めの利かない物価上昇を鑑み、もう一步踏み込んだ給食費の公費負担の実施を英断することを期待してやまない。市長の見解を伺う。

答弁 学校給食費のさらなる公費負担についてですが、このことは市長就任当初から必要性の認識は変わっていませんし、何らかの支援を行いたい気持ちは強く持っているところです。しかしながら、学校給食費の無償化を実施するには、毎年、多額の費用が必要とされ、財源捻出等の理由から実施にいたる判断が非常に難しい状況にあります。今年度に限っては、近年の急激な物価高騰により食材費が上昇しつづけていることから食材費上昇分についての負担軽減に取り組んでいるところです。学校給食費の公費負担につい

ては、自治体財政力の差によって保護者負担に格差が生じないように、できれば国において実施いただくことが望ましいことですし、先日国から示された方針では無償化に向けて全国的な実態調査を行い、課題を整理することとされていますので、「もう一步踏み込んだ公費負担」については、こうした国の動きや道内自治体の状況も注視しながら、他の施策との優先順位を総合的に勘案し、慎重に判断していきたいと考えています。



第2回定例会 代表質問から

自治体DXの推進に伴う業務の改善について



堀 重雄
公明党

問 令和3年9月に実施された市民アンケートでは、子育て支援に関する市民満足度が低いという結果が報告された。この市民の声を受け、様々な子育て支援策が市政執行方針で示されているが、特に市民ニーズが高いと考えられるものには何があるのか、市長の見解を伺う。

答弁 総合計画の市民アンケートでは、子育て支援についての改善の優先度が高い項目として「妊娠・出産に対する支援の充実」、「保育サービスなどの子育てに係る支援や児童福祉の充実」があげられています。また、必要とする具体的な子育て施策を問う設問を設けていませんでしたが、自由回答に記載されている不満として、他市町と比較し経済的な支援の不足は少なくなく、経済的な支援に対する市民ニーズは高いと考えられます。令和5年度に実施する事業として、医療費助成制度の拡充、伴走型相談支援と出産・

子育て応援給付金の一体的実施、産後ケア事業はその市民ニーズに答えることができた事業と考えています。

問 自治体DXの推進に関する政策が示されているが、業務全般において改めて業務の見える化を行うことで無理無駄を発見し、改善策を検討することを進めるべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 「業務の見える化」については、現状の業務の可視化を行うことで、より具体的で効果的な改善につながるものと考えています。今年度、交付金を活用して進めている窓口改革においては、手続きや業務フローの整理などを行いながら、改善策の検討を進めていくこととしており、窓口改革の中で業務の見える化の手法の整理を行い、その成果も踏まえながら、他業務への展開などを検討していきたいと考えています。

第2回定例会 個人質問から

産後に関わるサポートの事業体制について



高橋 江海子
れいわ新選組

問 現在実施されている産後ケア事業は、宿泊型や通所型であり、全て砂川市立病院に行かなければ受けることができない。市内で実施することが真の意味で全ての妊婦が安心して出産、子育てできる環境を整えることにつながるのではないだろうか。産後ケアの一部でも市内で行うことはできないのかを伺う。

答弁 自宅からのアクセスという面で市内でのニーズがあることは当然かと思えます。しかし国の基準で産後ケアには助産師、保健師、看護師を1名以上おくことと、保健指導を行う際は、病院や診療所の空きベッドを活用することが望ましいと定められているため、本市では現時点で条件を満たせていません。この条件を満たし、市内の8割の方が出産をされている砂川市立病院で出産から産後まで同じ場所で携わってもらおうことが、現時点で理想的な流れであると考えています。

問 産後ケア事業を行う一方、行政と民間が連携して行う産後ヘルパー事業についても、近年の核家族化やコロナ禍で家族のサポートが受けられない市民の期待が非常に高まっている。市内にある既存のヘルパー事業（買い物・家事代行サービス等）を出産後の親等が利用した場合に一部助成を行うことについてどのように考えるかを伺う。

答弁 既存ヘルパー事業所については、高齢者や障がい者向けの事業所が大半であり、介護人材の不足という課題も抱える中、これまで産後ヘルパーとしての稼働は少ないと思われるため、それぞれの事業所にも理解を深めていただく必要があります。一部助成を行う場合、財源確保の問題もあることから、まずは伴走型相談支援を進めていく中でしっかりと聞き取りをしながら子育て世帯への支援について構築していきたいと考えています。

第2回定例会 個人質問から

空き家等対策の推進について



柴田 文男
21フォーラム

問 今後、空き家対策は重大な課題となるが、現状の市の体制ではその需要に対処できない。適切な除却を進めるため新たな部署の設置や専門職の配置が必要と思われるが、考えを伺う。

答弁 現在の滝川市空家等対策計画の推進体制については、くらし支援課の職員が市内の状況を確認し、除却が必要と思われるものは建築技師も同行し危険度を判断しているところです。ご指摘のとおり、空き家問題は今後のまちづくりに大きく影響する問題と認識しています。課題の重大さを再認識し、庁内の慢性的人員不足も踏まえながら、専門部署の設置について検討していきたいと考えています。

問 未曾有の少子化が急速に進む一方で、それを上回るかのような教職員不足が懸念されている。本市における現状と対応策について伺う。

答弁 道内はもとより、全国的にも教職

員不足の傾向が続いており、大変憂慮すべき状況です。少子化の影響で学校数や学級数は減少しているものの、様々な理由から大幅な教職員不足が生じております。本市においても多くの問題が生じており、喫緊の課題であると承知しています。教職員不足の解消には、定数の改善など抜本的な制度改正が不可欠と考えますので、都市教育長会などを通じ、国や道に強く働きかけていきたいと考えています。

問 部活動の地域移行については、子どもたち本位のものでなければならない。現状と課題について伺う。

答弁 市内小・中学校の部活動の状況を本年1月に調査し、児童生徒や保護者のニーズを把握しながら、受け皿となる地域の団体や指導者を継続して確保したうえで、持続可能な活動となるよう丁寧に準備を進めていきます。

学校図書館の利用環境の維持について



寄谷 猛男
日本共産党

問 総務省のガイドラインに基づき策定する市立病院の経営強化プランにおいて、業務縮小による住民医療サービスの後退が懸念されるが、どのような計画を想定しているのか考えを伺う。

答弁 市立病院の役割は中空知医療圏の急性期医療を担うことであり、経営強化プラン策定において住民医療サービスの縮小・後退については考えていません。

問 国民健康保険税のさらなる軽減措置の取り組みについて考えを伺う。

答弁 国民健康保険は、他の医療保険と比べ高齢者が多いことから医療費水準が高く、かつ比較的所得の少ない世帯の加入割合も多いなど構造的な問題を抱えているため、被保険者の保険税負担が重くなる傾向にあります。今後の道の保険税統一に向けた税率改定はやむを得ないものと考えていますが、基金を活用するなど保険税の急激な負担増にならないよう

検討していくほか、軽減措置等を受けられる方々に対してはスムーズに申請できるよう窓口や広報、ホームページなどで丁寧に周知します。

問 学校教育分野へのICT導入が進む一方、学校図書館の利用環境の後退が危惧されるが、市の考えを伺う。

答弁 学校図書館には、児童生徒の読書センター、学習センター、情報センターとしての役割・機能があり、GIGAスクール構想により1人1台端末が導入され、電子書籍を活用する流れが進んだ中においても、この3つの機能の発揮を通して、学校教育の中核たる役割があることに変わりはありません。また、読書が好きな子どもたちにとって心の拠り所である学校図書館の環境を維持することは大変重要なことです。魅力ある学校図書館づくりを各学校の司書教諭が中心となり市立図書館と連携をして進めています。

令和5年第2回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
選挙第1号	滝川市議会議長の選挙について	当選 山本正信
選挙第2号	滝川市議会副議長の選挙について	当選 三上裕久
選挙第3号	中空知広域市町村圏組合議会議員の選挙について	当選 山口清悦
選挙第4号	中空知衛生施設組合議会議員の選挙について	当選 福井雅章 藤田哲也 荻野仁史 荒木文一
選挙第5号	滝川地区広域消防事務組合議会議員の選挙について	当選 三上裕久 田村 勇 荒木文一
選挙第6号	中空知広域水道企業団議会議員の選挙について	当選 寄谷猛男 好川 章 藤田哲也 堀 重雄 柴田文男
選挙第7号	石狩川流域下水道組合議会議員の選挙について	当選 木下八重子 安楽良幸
選挙第8号	中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員の選挙について	当選 山本正信 安楽良幸 関藤龍也
選挙第9号	滝川市選挙管理委員及び補充員の選挙について	当選（委員） 田中良吉 高谷富士雄 野澤洋子 松本真理子 ----- 当選（補充員） 順位1 内潟昭仁 順位2 篠島恵理子 順位3 高嶋弘美 順位4 高島史明
選任第1号	常任委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について	選 任
選任第2号	議会運営委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について	選 任
選任第3号	滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について	選 任
報告第1号	専決処分について（滝川市税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。	報告承認
議案第1号	滝川市税条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第2号	監査委員の選任について	原案同意 山口清悦
議案第3号	滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会の設置について	原案可決

令和5年第3回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分について（令和5年度滝川市一般会計補正予算（第2号）） 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を受けて行う低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金を給付するための補正です。	報告承認
議案第1号	令和5年度滝川市一般会計補正予算（第3号） 滝川駅周辺整備を行うための補正です。	原案可決
議案第2号	滝川市部設置条例の一部を改正する条例 機構の改善を図ることにより、市政を効率的に執行するための改正です。	原案可決
議案第3号	滝川市議会委員会条例の一部を改正する条例 滝川市の組織変更に伴い、常任委員会の所管事項を見直すための改正です。	原案可決

令和5年第2回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
選挙第1号	中空知衛生施設組合議会議員の選挙について	当選 高橋江海子
選挙第2号	石狩川流域下水道組合議会議員の選挙について	当選 堀 重雄
選挙第3号	空知教育センター組合議会議員の選挙について	当選 関藤龍也
報告第1号	令和4年度滝川市一般会計予算繰越明許費の繰越しについて	報告済
報告第2号	令和4年度滝川市一般会計予算事故繰越しについて	報告済
報告第3号	令和4年度滝川市公営住宅事業特別会計予算繰越明許費の繰越しについて	報告済
報告第4号	令和4年度滝川市下水道事業会計予算の繰越しについて	報告済
報告第5号	一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について	報告済
議案第1号	令和5年度滝川市一般会計補正予算（第4号） 非課税世帯電力等価格高騰支援金給付事業、生活応援クーポン券発行事業、生活困窮者自立支援事業、温泉施設を活用した賑わいづくり事業等を行うための補正です。	原案可決
議案第2号	こども家庭庁設置法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 こども家庭庁設置法等の施行に伴い、関係条例を整備するための条例の制定です。	原案可決
議案第3号	滝川市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例 離島振興法第20条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部を改正する省令の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第4号	教育委員会委員の任命について 春田淳一さんが任命されました。	原案同意
議案第5号～第20号	農業委員会委員の任命について 赤川昌聰さん、伊藤公一さん、上田智雄さん、太田康雄さん、川本園太さん、木幡孝雄さん、中村英樹さん、野崎光章さん、長谷川嘉保さん、畠山かおるさん、平沢信二さん、本郷之浩さん、本元慎太郎さん、又村克茂さん、宮森俊之さん、山口忠さんが任命されました。	原案同意
議案第21号	財産の取得について 除雪トラック(10t級6×6専用型) 1台	原案可決
議案第22号	財産の取得について ロータリ除雪車(2.2m/2,300t級) 1台	原案可決
議案第23号	令和5年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第1号） 開西団地建替第一期工事費の精査による限度額の変更を行うための補正です。	原案可決
議案第24号	議員の派遣について	原案可決
意見書案第1号	特定商取引法の平成28年改正における5年後見直し規定に基づく抜本的改正を求める要望意見書	原案可決
意見書案第2号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める要望意見書	原案可決
意見書案第3号	薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める要望意見書	原案可決
意見書案第4号	保育士の配置基準を見直すことを求める要望意見書	原案可決

Topics 地域の政治を学ぶ

～ようこそ滝川市議会へ～ 小学生が議場を見学しました!!



6月1日(木)、滝川市立滝川第二小学校の6年生60名が、社会科の授業の一環として、議場見学に訪れました。児童たちは、実際に議員席や執行部席に着席し、議会の雰囲気を感じながら市議会の役割や仕事、会議の流れなどについて職員から説明を受けました。



6年1組



6年2組

※「繰越明許費」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に!」を参照

議員の表彰

次の方が全国市議会議長会の表彰を受けました。

議員在職 20年以上 表彰

三上 裕久 山口 清悦 柴田 文男

議員在職 15年以上 表彰

本間 保昭

※令和5年6月14日受彰

なるほど、そうなんだ

用語を理解して議会をもっと身近に！

■業務の見える化（可視化）（P 6）

「いつ」、「どこで」、「誰が」、「どのような方法で」仕事をしているかを把握できるようにすることです。組織として行っている業務量を適切に把握することで、問題点や無駄、そこに潜む課題を浮き彫りすることができ、業務の改善や効率化につながります。

■繰越明許費（P 9）

何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、特別に、翌年度1年間に限り繰越して使用することができるものをいいます。

気軽に！手軽に！

ネット中継!!



滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。



たきかわ市議会
ホームページQR



傍聴してみませんか

令和5年第3回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1 本会議	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12 本会議 一般質問	13 本会議 一般質問	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

選挙後の新たな編集委員のもとでの議会だより第1号です。

新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえて市民生活を元に戻す、物価高騰・エネルギー高騰から市民生活を守る、さらには駅前再整備や新文化施設建設などの課題について多くの市民の方が関心を寄せています。それらを含む様々な課題にどのように取り組むのか。本年度の市政や教育行政の執行方針について議会の場で質した代表質問等を掲載しています。

議会の動きを分かりやすくお伝えすることはもちろん、見やすく、親しみを持っていただける「議会だより」にするため、レイアウトや写真についても編集委員一同こだわりを持って編集しました。

議会の見える化を目指した紙面づくりにこれからも励みたいと思います。

たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 寄谷 猛男

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信